

過去の出題傾向について確認しておこう！

東北大入試研究[化学]

▶ 出題一覧表

過去 10 年の東北大学の入学試験(化学)で出題された分野を、次の表にまとめた。

	①	②	③
2016	気液平衡, 電離平衡 溶解度積, 熱化学	結晶の構造と性質 金属の単体の性質	有機化合物の構造決定
2015	ヘンリーの法則, 反応速度 気相平衡	(I) 電気分解・電池 (II) イオン結晶・分子結晶	有機化合物の構造決定
2014	物質の三態, 熱化学 化学平衡	(I) 鉛とその化合物 (II) 亜鉛とその化合物	有機化合物の構造決定
2013	分子間力, 蒸気圧	(I) 鉄とその化合物 (II) 金属の性質	有機化合物の構造決定
2012	気相平衡	(I) 電解精錬 (II) 金属結晶とイオン結晶	有機化合物の構造決定
2011	反応速度	(I) 電池 (II) 金属の構造・性質	有機化合物の構造決定
2010	電離平衡	(I) 金属イオンの分離 (II) 非金属元素の結晶構造	有機化合物の構造決定
2009	モル凝固点降下 熱化学方程式	(I) 電池 (II) 電気分解・金属イオンの沈殿	有機化合物の構造決定
2008	蒸気圧	(I) 酸化還元反応 (II) 金属イオンの分離・溶解平衡	有機化合物の構造決定
2007	熱化学方程式 溶解度曲線	鉄の性質・反応	有機化合物の構造決定

▶ 分析と対策

2016年の問題は、理論・無機分野、有機分野ともに昨年並みの難易度であった。

対策として、理論・無機に関しては、基礎事項をきっちり習得した上で、標準的な問題を確実に解けるように訓練しておけばよい。計算過程を書かせる問題が出るので、日常の学習で簡潔にまとめる練習をしておくこと。また、論述問題の練習を十分に積んでおくこと。有機に関しては、例年やや難の構造決定の問題が出題されているので、早い時期に基礎事項の習得を終え、十分に演習を積んでおくこと。また、大問は合計3題で、各大問における出題分野も似通っている。過去問の学習をしっかりと行うことが大変重要である。